

平成30年8月10日

尾張旭市議会議長 殿

議会ICT化検討会

座長 篠田 一彦

第1回 議会ICT化検討会報告書

平成29年8月10日より13回に渡って開催されました議会ICT化検討会の検討結果を下記のとおり報告します。

記

1 構成員

座長：篠田 一彦 副座長：まつだまさる

委員：芦原美佳子 川村つよし 牧野 一吉 みとべ茂樹 若杉たかし

2 開催状況

平成29年度及び平成30年度の開催数 13回

第1回：平成29年 8月10日	第2回：平成29年 9月 8日
第3回：平成29年10月 6日	第4回：平成29年12月14日
第5回：平成30年 1月11日	第6回：平成30年 2月 6日
第7回：平成30年 3月20日	第8回：平成30年 4月17日
第9回：平成30年 5月14日	第10回：平成30年 6月12日
第11回：平成30年 7月 9日	第12回：平成30年 7月20日
第13回：平成30年 8月10日	

3 検討事項

尾張旭市議会ICT化基本計画を踏まえ、以下の事項を検討した。

- (1) 尾張旭市議会へのICT技術の導入について
- (2) 通信環境の整備について
- (3) 今後の方向性について

4 検討結果

- (1) 尾張旭市議会へのICT技術の導入について

議会活動の活性化及び市民に開かれた議会を目指し、ICT技術を活用することで、議員の調査・情報収集能力を向上させることが期待できる。また、議員へ公的なメールアドレスを付与することで、市民との対話の窓口を広げる効果がある。

導入対象及び導入時期等については、別表のとおりとする。

(2) 通信環境の整備について

会派室内の通信環境の強化と通信データ量（通信費）を抑制するため、Wi-Fi 環境の整備を提案する。

(3) 今後の方向性について

委員会室へのカメラ設置、議場内への大型モニター設置、電子採決システム等の導入について、さらなる検討を続ける。

【別表】

導入対象	契約方法	経緯及び理由	導入時期
○グループウェア CESS	随意契約 (複数見積徴収)	尾張旭市議会の運用及び管理の観点から、検討会において3種類のグループウェアを試験運用し、評価の結果、尾張旭市役所で導入しているものと同様のグループウェア (CESS) とすることを決定した。 選定されたグループウェアを取扱う複数の業者から見積書を徴収し、随意契約を行う。	【ステップ1】 平成30年12月補正に計上し、平成31年1月より導入
○通信 LTE (公費：議会費)	一括契約 (入札)	自宅や外出先でもグループウェアを活用できるようにするため、LTEを導入。 なお、通信費については、議員の議会活動の活性化や、事務局の事務負担の軽減などが見込めるため、足並みを揃える意味合いも含め、公費によって通信費を負担していくことが望ましい。	【ステップ2】 平成31年当初予算へ計上し、平成31年の改選後より導入
○タブレット iPad pro (12.9インチ)		iPadとしたのは、操作性と安定性、MDM等によるセキュリティの確保が行いやすいことを考慮した。 サイズについては、より小型で安価なものも検討したが、委員全員で実際に端末を操作し、将来的に議場で会議システムを導入することを考慮し、その将来性・拡張性と見やすさから12.9インチのモデルを選定した。	
○Wi-Fi環境 Wi-Fiルータ	買取・随意契約 (複数見積徴収)	会派室内の通信環境の強化と通信データ量（通信費）を抑制することを考慮した。	【ステップ2】 平成31年の改選後より導入
○会議システム 委員により選定	随意契約 (複数見積徴収)	改選に備え、今後導入が予定される会議システムについて、議会ICT化検討会によりあらかじめ選定を行い、改選後の事務を円滑にする。	【ステップ3】 平成32年度より導入